

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本発条厚木工場 6号館新築工事	階数	地下1F、地上4F
建設地	神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台 4055-1、4055-2、4055-3、4056	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	220 人
地域区分	5地域	年間使用時間	7,200 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年10月12日
敷地面積	3,300 m ²	作成者	鹿島建設株式会社横浜支店 一級建築士事務所
建築面積	2,349 m ²	確認日	2022年10月12日
延床面積	8,992 m ²	確認者	鹿島建設株式会社横浜支店 一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	76%
③上記+②以外の	71%
④上記+	71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

機能性	N.A.
耐用性	3.0
対応性	4.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

地球温暖化	4.1
地域環境	2.2
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努めている		-
Q1 室内環境 ・評価対象外	Q2 サービス性能 ・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。 ・耐用年数の長い外装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) -
LR1 エネルギー ・[BEI][BELm]=0.4	LR2 資源・マテリアル ・BCP柱、ハイベースNEO等の採用があり、材料使用量の削減を図っている。	LR3 敷地外環境 ・高効率な設備機器の採用によりCO ₂ の削減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される